

奥深大寺「調布市北部地域活動」 ふじみ地区自治会等連合会



連合会は環境、安全、福祉、地域交流をテーマに活動しています。

2023年10月21日
(発行:毎月第三土曜日)

(構成)
自治会:北の台第二、北の台第四、香風、
栄、さつき会、深大寺東、
深大寺東第一、野ヶ谷第二団地
団 体:なかま・町づくり、タスクネット東京、
東町ガーデン、エンピツ広場、
住みやすい野ヶ谷の会、
子ども食堂深大寺東町

地元を少しでも、安全で暮らし易くするために・・・



秋の全国交通安全運動(航空宇宙研究所前交差点)

期間:令和5年9月21日～30日

時間:8時半から1時間

参加:延べ41人

内容:交差点の歩行者、
自転車の安全誘導、
交通安全啓発テッシュ配布



・来訪:調布市長、市議会議長、副議長、交通対策課、
総合防災安全課 (三鷹警察署2日間お手伝い有)

・所感:朝夕交通量が年々増え、通勤通学時間帯以外も危険
場面が増える傾向にあります。



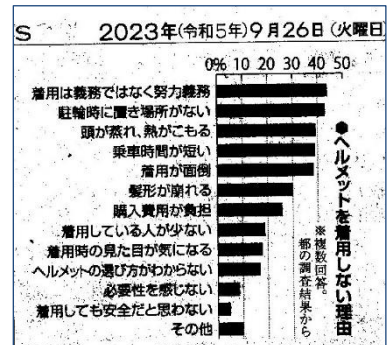
自転車のヘルメット着用は認知9割、実着用1割！

都のインターネットアンケート調査によると、自転車に乗
る際のヘルメット着用については9割認知しているものの、
実際の着用は1割に留まっている事が明らかになった。

着用しない理由(複数回答)は、

①義務でなく努力義務だから(43.9%)、②駐輪時の置
き場がない(43%)、③頭が蒸れる熱がこもる(39, 3%)、
乗車時間が短い、着用が面倒
髪型が崩れる
購入費用が負担
着用している人が少ない
着用時の見た目が悪くなる
ヘルメットの選び方がわからない
必要性を感じない
着用しても安全だと思わない
その他

(出典:読売新聞2023年9月26日)



デマンド交通、都内各地で走り出す

利用者の事前予約にもとづいて運行やルート、ダイヤが決まるデ
マンド交通の導入に向けた動きが都内で広がっている。大田区で
は7月より実証運行中。時間帯は9時半から午後4時半まで。1回
300円。高齢女性によると、今まで路線バスを乗り継ぎ1時間か
かっていたが、今は約10分で可行的。予約では戸惑ったが、もう慣
れた。すごく便利との高評価。(出典:読売新聞2023年9月26日)

北部デマンド交通は年内に運用される予定となっているが、前提
要件として地域住民への十分な周知が必要。不慣れによる混乱、
利用回避とならないよう、地域協力の対応も求められる。



各地で実験、都も補助金

ブランチ調布フェス2023（～出張児童館deまなぼうはん～）

日程:9月30日(土) AM11:00～PM4:00
2回目の開催となった今年は市民防犯を添えたイベント！ 多くの来場者で駐輪場も満杯でした。

内容:ステージパフォーマンス、おもちゃのひろば、むかしあそび、ゲームコーナー



夜間交差点の注意視認性(上ノ原小学校周辺)

上ノ原小学校前の市道は整備計画(都道)が進んでいる途中ですが、小学校を取り巻く各交差点は通行車両が多いところとなります。

朝は通学優先でスクールゾーン規制で車両を抑制しています。信号機設置が無い交差点でもあり、夜間の注意視認性向上に点滅器を設置、ドライバーに見易くなりました。



北小通学路の安全を考えて(資料作成)

資料では、北ノ台小学校に通学している子ども達の交通安全と防犯について考えています。現状の把握と考えられる安全対策について共有できればと思いから、タスクネット東京が資料にまとめています。

保護者だけでなく、地域の方々が協力して見守りをしあつてゆく事が必要としています。
他校地域で実現されている学校周りのスクールゾーンの設定について、安全確保の一つとして考えてみましょう。



まちづくりに関心を持つ人たちによる ”もちよりバー”

主催:パッチワークス
(協力:大和リース/ブランチ調布、タスクネット東京)

まちづくりに関心のある方が、各自もちよりで自由に集まっています。

毎月第三金曜日、夕方6時。(参加費500円)
ブランチ調布(コミュニティスペース)で開催。
「ゲストのお話し」

第1回8/18(金):メディア奥深について。参加20人
第2回9/15(金):発酵について。参加20人

